

2013年4月1日

報道関係各位

カルチャ・コンビニエンス・クラブ株式会社

武雄市図書館 2013年4月1日オープン

武雄市(市長:樋渡啓祐)の掲げる「新・図書館構想」のもと、カルチャ・コンビニエンス・クラブ株式会社(代表取締役社長兼CEO:増田宗昭、以下、CCC)が指定管理者として初めて運営する図書館、武雄市図書館(佐賀県武雄市武雄町大字武雄 5304-1)が2013年4月1日に開館しました。



「新・図書館構想」は市民の誰もが利用しやすく、利用したくなる“市民の生活をより豊かにする図書館”を作る構想です。武雄市図書館・歴史資料館の図書館部分をより市民価値の高い施設として運営するために、指定管理制度を導入して公立図書館部門を武雄市がCCCに委託し、「代官山 蔦屋書店」のコンセプトやノウハウを活かした、これまでにない図書館を実現しました。さらに館内には書籍販売や音楽・映像レンタルを行なう「蔦屋書店 武雄市図書館店」、「LIBRARY&CAFÉ」という新しいスタイルを実現するために、公共図書館でスターバックス初の出店となる「スターバックスコーヒー 蔦屋書店 武雄市図書館店」が出店します。

新しい「武雄市図書館」が実現する市民価値として、市民の誰もが利用しやすいように、年中無休で午前9時～午後9時までの開館時間とするほか、開架図書を従来の2倍に拡大し20万冊の触れられる蔵書を市民に提供します。また「代官山 蔦屋書店」のノウハウを活かしたライフスタイル別の3つの小部屋に象徴される書籍の陳列方法は従来の図書館と趣を異にする“本との出会い”を提供します。さらに、図書館の役割として重要なレファレンス機能を強化するための仕組みとして、セルフカウンターの導入やiPadを使った30台の検索端末、レファレンスカウンターの増設なども行なっております。

市民価値が高く、市民の生活をより豊かにする新しい図書館の形が武雄市図書館からはじまります。

■20万冊の知に出会える場



従来閉架書庫だった場所や事務所スペースを開架書庫として活用。開架蔵書は従来の2倍となる20万冊、開架スペースは1.4倍に拡大。

■公共図書館初のスターバックス



貸出前の本や購入前の雑誌や書籍を読めるLIBRARY&CAFÉ。スターバックスで買ったコーヒーは館内への持ち込みも可能。

■雑誌販売の導入



要望が多かった雑誌の取扱い数が拡大。従来閲覧可能だった107タイトルが、蔦屋書店で販売を行なうことで600タイトル以上に拡大。全ての雑誌は購入前でもLIBRARY&CAFÉでご覧頂けます。

■「代官山 蔦屋書店」のノウハウ



十進分類法による陳列を改め「暮らし方」「楽しみ方」「生き方」といったライフスタイル別にした陳列など、本を手に取りたくなる空間作りは「代官山 蔦屋書店」のノウハウが活かされています。

■Tカード、Tポイントの導入とセルフカウンターへの導入



図書館カードとしてTカードを選択可能に。お手持ちのTカードを図書館カードにできるほか、原研哉氏デザインの新しい図書館カードをご用意しました。

また、Tカードをお持ちの方はセルフカウンターを利用の際、1日1回Tポイント3ポイントが貯まります。

本件に関するお問い合わせ:

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社 社長室 広報 TEL:03-6800-4764(担当:高橋祐太)

「カルチュア・インフラ」を、つくっていくカンパニー。

CCC